●令和7年度町村議長・副議長研修会（東京都）

令和7年5月27日 山本 忠志

冒頭の事務連絡に続いて、全国町村議会議長会会長から、「地方自治の多様化に対する適切な判断力を養成するとともに、全国の災害に対する取り組みに対して町村議会の役割が増大しているので、今日の研修会を役立てて欲しい」との挨拶があった。

最初の講演は内閣府の松本慎太郎氏から「防災DX」について、①広域災害時の自治体間の情報共有 ②新物資システム(B-PLo)の活用 ③クラウド型被災者支援システムの活用、などについてのお話を伺った。

続いて明治大学名誉教授の青山やすし氏からは、災害の復旧・復興に対する実務的なお話があり、特に議会はあらゆる災害への備えと復興への考え方の準備が不可欠、との言葉に共感した。

最後は、同支社大学の新川達郎名誉教授から「災害と議会・議員の役割」についてのお話を伺った。災害対応は首長を中心とした行政の守備範囲であり、議員や議会がでしゃばる場面ではないと考えられがちだが、①事前の予防段階 ②災害発生時 ③災害救援時 ④復旧時期 ⑤復興時期と言うふうに時系列にした議会・議員の役割についてどのように振舞うべきか、参考になった。